



♡ご挨拶

大変な騒ぎになってきましたね。世の中、人の考え方は確かに万人みな違うのはあたり前ですが、一番大事なことは、まず他人・相手を大事にすること、貧しい人・弱い人の味方になること、差別をしないこと、日頃自らの行為を反省すること、そして一層、他人（世界を含む）を愛する努力をすることではないでしょうか。右とか左とかの考えはひとそれぞれですが、よく考えてください。人間の心の中には、ほとんどの人に大なり小なり悪または善なるものを持ち知らずに人を傷つけています。完璧な人はまずいません。

フェイク情報を流したり、不正行為をしたり、またこれらを正当化したりするのがあたり前になったら、国が滅びますよ。みんな、目を覚ましてください。

🍷 今月の言葉

院長の得意技は「外科一般」「麻酔学（ペインクリニック含む）」「実践的総合診療」です。大学卒業後、大学を離れ少し武者修行をして得たことを生かして、心の病気からむずかしい癌の診断まで、力の限りこれからも取り組んでいくつもりです。

院長

院長より

1 今、あることを考えています。皆さんがクリニックに通院している中で何か気になること、ひょっとしてこれから起こりうること、病気、一番に心配すること、ありませんか？

たとえば、膵癌は大丈夫だろうか？ 知らずのうちに心筋梗塞、脳卒中にならないだろうか？ 肺癌検診やっているけど胸部 XP で見逃しがあるんじゃないのか？ 他院で腫瘍マーカーに異常を指摘されたけれど大丈夫なんだろうか？ 病院で、高血圧、高脂血症、軽度の腎臓機能に異常があるけど、ただ通院して、検査を1年も2年もやってない、など。

2 われわれが今考えているのは、各疾患に特化した、精密健診、たとえば「膵がん」「脳」「肺癌」「全身動脈硬化」「腎臓精密」「胸腹部大動脈」「下肢動脈血管」等々です。それぞれドックとして今後徐々に具体化してゆきます。

3 この国全体が各分野で危機を迎えつつあります。医療機関について言うと、全国の医療機関の（統計上）60%から80%が赤字になり閉院、規模縮小、看護師に希望退職を募っているところもあります。原因の主なもの、この国の診療報酬削減政策があり現場を知らない方々の大きな圧力もあります。このままでは、3,4年後には患者さんがかかる病院は限られ、病気の晩期発





見（早期ではありません）が増え、後手後手の診療がまたに増えることとなるでしょう。



4 当院としては、医師の仕事も増えるのですが、在宅医療も同時に考えていくようにもなるかもしれません。現在、検討中であります。

5 当院は、院長は「実践的な総合診療」とくに外科系、麻酔系、救急医療の概念も踏まえて、現在外来をやっています。次いで多いのは精神疾患への対応、带状疱疹治療（特に PHN 重症の神経痛）、全身動脈硬化への進展してしまっている方々への生活指導、多臓器障害の概念指導、肺癌発見には AI（人工知能）を併用、また糖尿病の患者さんも増えています。勿論がんの発見も増えてきました。

6 特に、がんの発生にストレス（大変な、頑張りすぎてしまう方々）がかなり影響することを述べておきます。

7 当院は 膵癌 胆管癌の発見にも力を入れています、昨年から膵癌診断の数が増えてきています。末期がんではなく、ステージ 1 前後で術前化学療法とダビンチ手術、術後化学療法、全身管理、栄養管理、糖尿病発生の対する管理などで経過良好なケースが増えてきました。

8 考えてみれば、当院は、外来点滴治療が多いクリニックです。大人から子供までそれだけ重症な患者さんが多いことになります。

9 以上いろいろありますが、ピンチをチャンスとみて、当院は医師 2 名・事務・総務・看護師・受付・先生付きクラーク・清掃管理の方・レントゲン技師（非常勤）のかたがたとともに必死に頑張っ、これからこの状況を乗り越えてゆきます。よろしくお願いいたします。

10 韓国はいま医師が少ないと判断し医師の増員計画をしています。フィリピンの開業医は、総合診療医を専門とするドクターが多く、国民の厳しい現状に対処しています。しかし一部の富裕層・権力者以外の貧困層はまだ大変な思いをしています。まとまったお金がないと病院にかかれない、入院もできないそうです。（フィリピンの現地の方からの情報です）

< 院長の 1 月の院内外の活動報告 >

/19（月）院内カンファレンス

/22（木）松戸市医師会 WEB 講演、これからの感染症対策について

千葉県診療報酬審査委員会 WEB 講演 日常の診療におけるルール

/31（土）1 月分レセプト作業、おかむら通信作成



胃腸炎 流行中です。美味しいもののタレ冬ま、さかりですが、気をつけながら七種
楽しみたいですね！

